

昭和シェル石油株式会社

昭和シェル石油のIR活動

昭和シェル石油株式会社 経理財務統括部 IR課 課長 川崎 直樹

「平成28年度 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、当社は石油鉱業部門の優良企業に2年連続で選定されました。この結果については、日頃から注力し密にコミュニケーションさせていただいているアナリストの皆様方からの評価であるため、喜びも格別であり、大変光栄に受け止めております。本選定において、4年前まで当社は同部門で最下位でありましたが、近年では順調に改善を重ね、現在に至りました。皆様方のご支援・ご指導のお陰と深く感謝申し上げます。

さて、このような改善の背景として、当社が最も強く意識して取り組んだことは「経営陣の参画」、「投資家の関心事項への対応」、「情報開示の改善」です。

「経営陣の参画」では、当社は過去から継続して経営トップが主催し、国内のアナリストおよび機関投資家を対象に経営戦略を説明する「トップセミナー」を開催しております。このイベントは、経営トップの考えが直接聞かれる貴重な機会として、参加者の方々からの評価は高く、CEOという経営トップに限らず、各事業分野を担当する役員も参加し、自らが担当する分野の事業戦略を説明し、対話するようにしています。その他には、スモールミーティングといった比較的小規模の機会も設け、より対話を重視し、議論の内容も掘り下げることができる形でのコミュニケーションも実施しています。2016年6月には、当社として初めて、社外取締役もスモールミーティングに参

加し、議論はガバナンス面にも及び、非常に有意義な対話ができました。

「投資家の関心事項への対応」については、当社の業況に合わせて変化する投資家ニーズに応じて、開示資料の充実や工場見学会・事業説明会などのイベントを開催し、投資家の理解促進を図るようにしています。また、当社の主力事業である石油事業においては、日々の製品市況の動きが激しく、特に海外投資家には適時に把握することが難しいため、関連する市況情報を電子メールおよびWebサイトで定期的に提供しています。

「情報開示の改善」については、当社にとって依然課題が残るテーマではありますが、投資家の関心が高く、できることから順番に、決算説明資料における情報開示内容の改善を図っております。加えて、当社が取り組んでいる中期計画に関する戦略実行の進捗報告も継続的に開示しています。日頃から直接接する機会が少ない個人投資家に対する情報開示やメッセージ発信も意識しながら、Webサイトも活用し、当社の事業内容や経営戦略の進捗をいかに解りやすく伝えていくかをテーマに取り組んでいます。

このようにIR活動の改善を進めていく中で、本選定のように明確な成果が現れてくるにつれ、経営陣をはじめ、社内全体としてもIRに対する意識が高まり、当社の経営や運営においてポジティブな影響を与えていると認識しています。IR活動は誰のためではなく、自身のために行うものと認識し、さらに改善を目指してまいります。